学校番号	１２０１

令和５年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「最新 数学Ⅰ」　（数研出版）						
副教材等	パラレルノート　数学Ⅰ						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では途中式を大切にしながら「次はどのような式変形をすればいいだろうか？」を考えることを重要視します。高校数学では答え出せば良いということではなく、数学のルールを理解しながら、なぜその式変形をするのかということに注目していきましょう。中学校までの数学と比べ、一気に難しくなりますが、時間をかけて粘り強く学んでいきましょう。

・「家庭学習」の習慣を定着させるようこころがけて下さい。1 日 15～30 分、自宅で数学の勉強をすることが分かるためのコツです。授業で行った復習問題や簡単な計算問題を課す場合があるので、自分の力で解くこと、解こうとする姿勢を持つことを大切にしてください。

2 学習の到達目標

知識・技能…各単元において基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。

思考・判断・表現…表, 式, グラフを相互に関連付けて、事象を数学的に考察し、適切な手法を選択して表現することができる。

主体的に学習に取り組む態度…問題解決の過程を振り返り、粘り強く問題の解決を図ろうとする態度を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1学期</td><td>数と式の計算</td><td>・計算の基本
・多項式と単項式
・展開と因数分解
・根号を含む式の計算
・実数</td><td rowspan="2">a: 符号や記号等に注意しながら数学上のルールに従って正しく計算できる。
b:計算問題を解くにあたり、なぜその式変形をするのかを考える。
c:複雑な計算問題において、自分が分かる形に変形させるなどして工夫して答えようとしている。</td><td>確認テスト
定期テスト</td><td>定期テスト
振り返りレポート</td><td>振り返りレポート
課題
授業態度等</td></tr>
<tr><td>1次不等</td><td>・１次方程式
・不等式</td><td>確認テスト
定期テスト</td><td>定期テスト
振り返りレポート</td><td>振り返りレポート
課題
授業態度等</td></tr>
<tr><td>2次関数のグ</td><td>・関数
・一次関数のグラフ
・二次関数のグラフ</td><td rowspan="2">a: 関数や方程式の意味を理解し、数学上のルールに従って正しく計算できる。
b:方程式や不等式と関数を相互に結び付け、関数の形や値の大小関係等について考える。
c:与えられた関数の式や方程式をもとに、自分でグラフを描き、ｙの値やｘとｙの関係について考えようとしている。</td><td>確認テスト
定期テスト</td><td>定期テスト
振り返りレポート</td><td>振り返りレポート
課題
授業態度等</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2学期</td><td>2次関数の値の変化</td><td>・二次関数の最大最小
・グラフと二次方程式
・グラフと二次不等式</td><td>確認テスト
定期テスト</td><td>定期テスト
振り返りレポート</td><td>振り返りレポート
課題
授業態度等</td></tr>
<tr><td>三角比</td><td>・直角三角形
・三角比</td><td rowspan="2">a:図形の性質や定理を理解し、方程式を活用して未知の値を求めることができる。
b:解くときにどのような図形を描けばよいか、また、どの定理を使えばよいかを考える。
c:与えられた図形や文章に自ら情報を書き込み、解く手立てを考えようとしている。</td><td>確認テスト
定期テスト</td><td>定期テスト
振り返りレポート</td><td>振り返りレポート
課題
授業態度等</td></tr>
<tr><td>三角形への応用</td><td>・正弦定理
・余弦定理
・三角形の面積</td><td>確認テスト
定期テスト</td><td>定期テスト
振り返りレポート</td><td>振り返りレポート
課題
授業態度等</td></tr>
</table>

3学期	集合と命題	・集合 ・命題 ・必要条件と十分条件	a:集合と命題に関して、語句の意味を理解し、それの表す事象を記号を使って表現できる。 b:命題を数直線上やベン図等を活用し、文章化されている命題 P と命題 Q の表す範囲等を見える形に置き換える。 c:その命題の真偽を考える際に、図のみならず、対偶や背理法等を活かしながら様々な方面から事象を考えようとしている。	確認テスト 定期テスト	定期テスト 振り返りレポート	振り返りレポート 課題 授業態度等
	データの分析	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばり ・データの相関	a:データの分析に関して、語句の意味を理解し、表やグラフが表す内容を理解することができる。 b:表やグラフに示されている事柄を読み解き、そのデータの意味を考える。また、複数のデータを比較してその違いや傾向について考える。 c:与えられたデータに対して、代表値などを活用しつつ数学的に評価しようとしている。	確認テスト 定期テスト	定期テスト 振り返りレポート	振り返りレポート 課題 授業態度等

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考力・判断力・表現力　c：主体的に取り組む態度